

大分県放課後児童クラブ、実施状況調査

結果 まとめ

平成30（2018）年10月

大分県内放課後児童クラブ関係者の皆様

大分県放課後児童クラブ連絡協議会
会長 佐藤 久住

大分県放課後児童クラブ聞き取り調査について（お願い）

盛夏の候、皆様方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平成27年度から「こども・子育て支援新制度」がはじまり、クラブの質的・量的な拡充をめざして各地域で様々な取り組みが実施されています。

しかし放課後児童クラブを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、今後も県・市町村、支援員・保護者・地域住民が一致協力し、クラブの更なる充実をめざす必要があります。

大分県放課後児童クラブ連絡協議会では、各地域における子どもの安心安全な放課後の生活の向上を願い、各地域の思いや情報を交換しながら、繋がりを目指して取り組みを進めています。

そこで、今回、大分県各地域の放課後児童クラブの現在の状況を知り、今後の取り組みに活かすため、下記の聞き取り調査を実施させて頂きたいと考えました。

大変お忙しい時期に恐縮なのですが、皆様のご協力をお願い致します。

記

- 運営に関する聞き取り調査
（対象）運営主体となる方（各クラブ一枚）

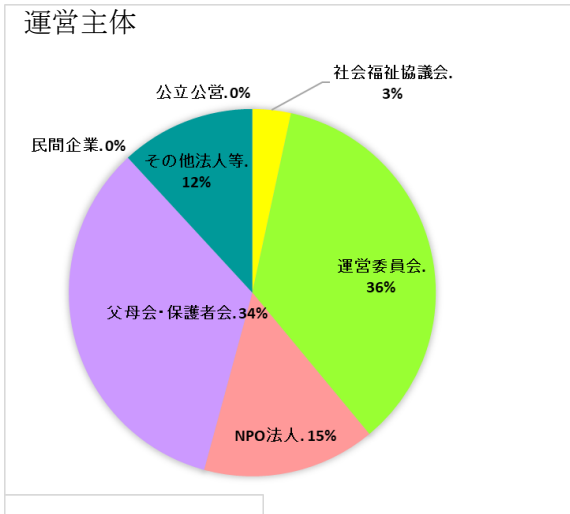
- 働き方に関する聞き取り調査
（対象）全ての支援員・補助員の方（一人一枚）

以上

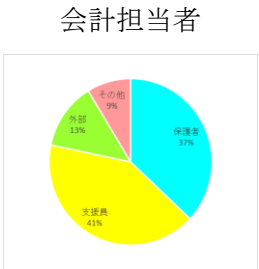
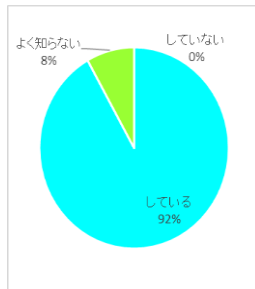
大分県内放課後児童クラブ聞き取り調査 ～ 一部抜粋の課題 ～

2018(平成30)年、大分県放課後児童クラブ連絡協議会では、県内の放課後児童クラブの現状を把握するために、「聞き取り調査」を実施しました。現時点において、県内すべての調査結果を回収し、それに伴う考察はできていません。ただし、本集会の討議資料として活用できる内容も含まれていますので、結果の一部ですが資料として提示します。今後、集約をすすめ、県内の状況を探りながら、各種取り組みへとつなげていきたいと考えています。

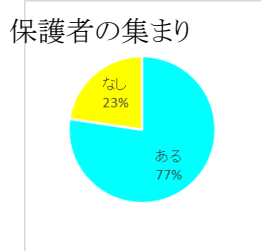
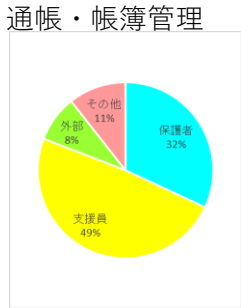
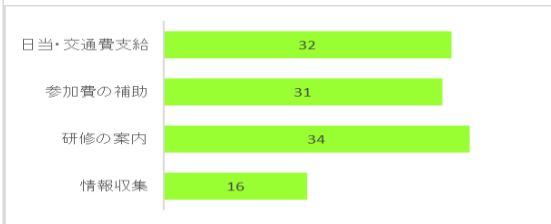
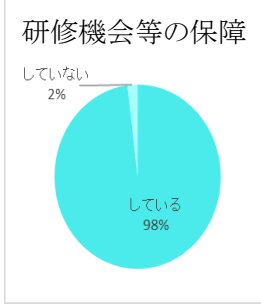
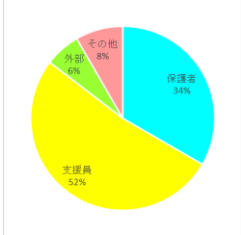
運営者への聞き取り調査



運営指針に基づく運営



活動費・給与等出し入れ



<つながるために>

- ・他クラブの児童との交流・非常時(地震、大雨、台風、大雪)の対応の統一
- ・勉強会(新人向けの交換研修、中堅向け、障がい児への対応、保護者との対応)
- ・職歴で分れて学べる場
- ・運営母体が異なると、内容もずいぶん違うので忌憚なく交流できる場
- ・定期的な学校関係者との情報交換
- ・民生委員と子どもたちとの交流
- ・地域の達人さん、商店施設、行事・実際の活動中起こった事の情報
- ・専門機関などとの情報、連絡、相談
- ・県外の先進的な状況 ・地域の理解と連携 ・小学校との連携

<運営上の困りや、これからに必要なこと>

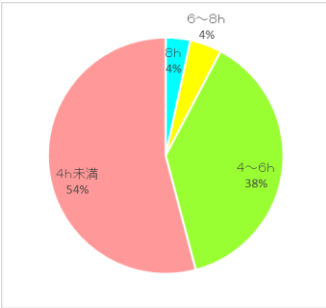
- ・少子高齢化で子どもたちの人数が減ってきている
- ・慢性的に人手不足
- ・支援員の支援が急務
- ・市内のクラブ統一しなくてもある程度は内容の均一化
- ・先進的な研究や実践をしている方の招聘
- ・運営主体が異なり、他クラブとの交流会の継続が難しい
- ・保護者運営の負担大
- ・運営の在り方の検討
- ・地域との協力

<フルタイム雇用について>

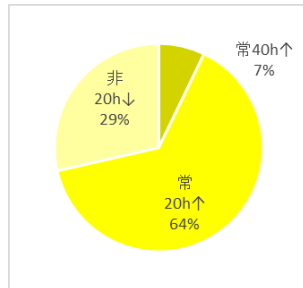
- ・年収300万～で、働きたい若者の確保
- ・1クラブに2名の通常勤務者を希望
- ・男性が働ける職場を望む
- ・人員を確保しやすい
- ・現実、家族の扶養範囲内での就労が多
- ・子どもが来るのが14:00～15:30なので午前中の勤務は不要
- ・社会保障制度の導入・運営上難しい
- ・フルタイムはいろいろ支障があるようだ
- ・少人数で大変だが、現状維持
- ・よいと思うが平日の仕事内容
- ・児童の参加時間を考えると非効率にも見えるが、
- ・しっかりとガイドライン(児童がいない時にすべきこと)があればよい
- ・現時点で、毎日長時間の児童の利用見込みがない
- ・組織体制を整えることが困難

支援員への聞き取り調査

平均勤務時間(平日)



支援員勤務時間内訳



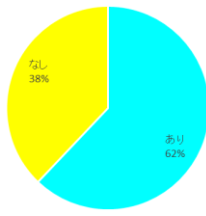
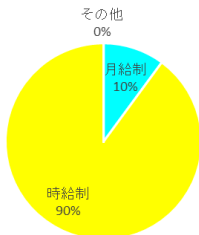
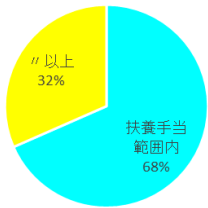
<今後、支援員を続けるために>

- ・資格・経験・健康・気力・体力・スキルアップのための研修
- ・発達障害に関する学習
- ・困りのある保護者とのコミュニケーション
- ・職場の良好な人間関係
- ・社会保障・給与、賞与、退職金、保険など待遇の改善
- ・福利厚生の確立
- ・安定した就職先
- ・放課後児童クラブの役割の確認
- ・防犯防災訓練で子どもたちを守ることに
- ・信頼される存在
- ・新しいことを始める時は支援員に相談ほしい
- ・子どもの成長がみれる
- ・介護と保育でとの両立可能なら
- ・支援員の悩みを聞いてくれる場所
- ・職員の確保
- ・保育に集中するため業務内容の見直し
- ・事務員の設置

年収

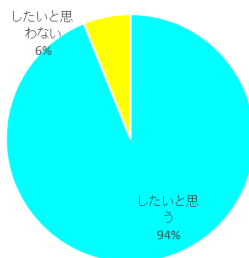
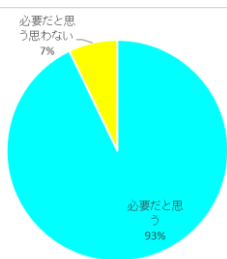
給与

時間外労働



つながる場

研修への参加



<こんな研修が受講できれば>

- ・他の学童の業務内容
- ・子どもの健康問題
- ・放課後児童クラブ運営指針について
- ・災害時の対応、責任問題
- ・発達障害・困りのある子への対応
- ・制作活動
- ・保育の知識など専門的な講義
- ・元気になるような楽しい話
- ・衛生管理
- ・実践報告
- ・大きな視野を持てるように全国規模の研修
- ・学童支援資格の時のような内容の繰り返しを聞くのもよい
- ・新人職員に対しての保護者対応や接遇マナー

<つながる場として>

- ・現行の連絡協議会・指導員部会
- ・学校との連携・支援員同士での情報交換
- ・大分県全体より各ブロックで分かれた方がよいのでは?
- ・現状の各クラブの困りを理解し解決するための方策を話し合う場
- ・他学童の見学・公民館や児童館などの他施設とのつながり
- ・老人クラブ(囲碁や昔の遊び)
- ・困りのある子に対しては保育所などとのつながりも必要
- ・外国人、老人の活躍の場を提供する
- ・地域の方々へ理解してもらうための情報発信の仕方を思案中
- ・幼稚園や小学校とのつながり
- ・土曜教室などの情報交換
- ・各行政とのかかわりも知りつつ大分県として一つになればと思う